

がん対策推進計画 個別目標中間評価シート（案）

【研究等】

個別目標	4-1 全国がん登録によるDCO率
用いる調査	全国がん罹患モニタリング集計

計画改定時点	目標	目標年度	最新値	達成状況
5.4% (平成25年)	5%	令和元年 (平成31年)	3.4% (平成27年)	改善傾向

取組状況

DCO率は、年間がん罹患数に占める死亡情報のみの症例の割合である。DCO率を低下させるため、届出の対象となる病院等に対し、年に3回程度、制度の周知や届出を促す通知を发出している。

評価	コメント
A	目標を達成している。

目標達成等に必要な課題

DCO率を低下させ、精度向上を図るためには、病院等から確実に罹患情報を届出してもらう必要がある。

課題を踏まえた具体的な取組

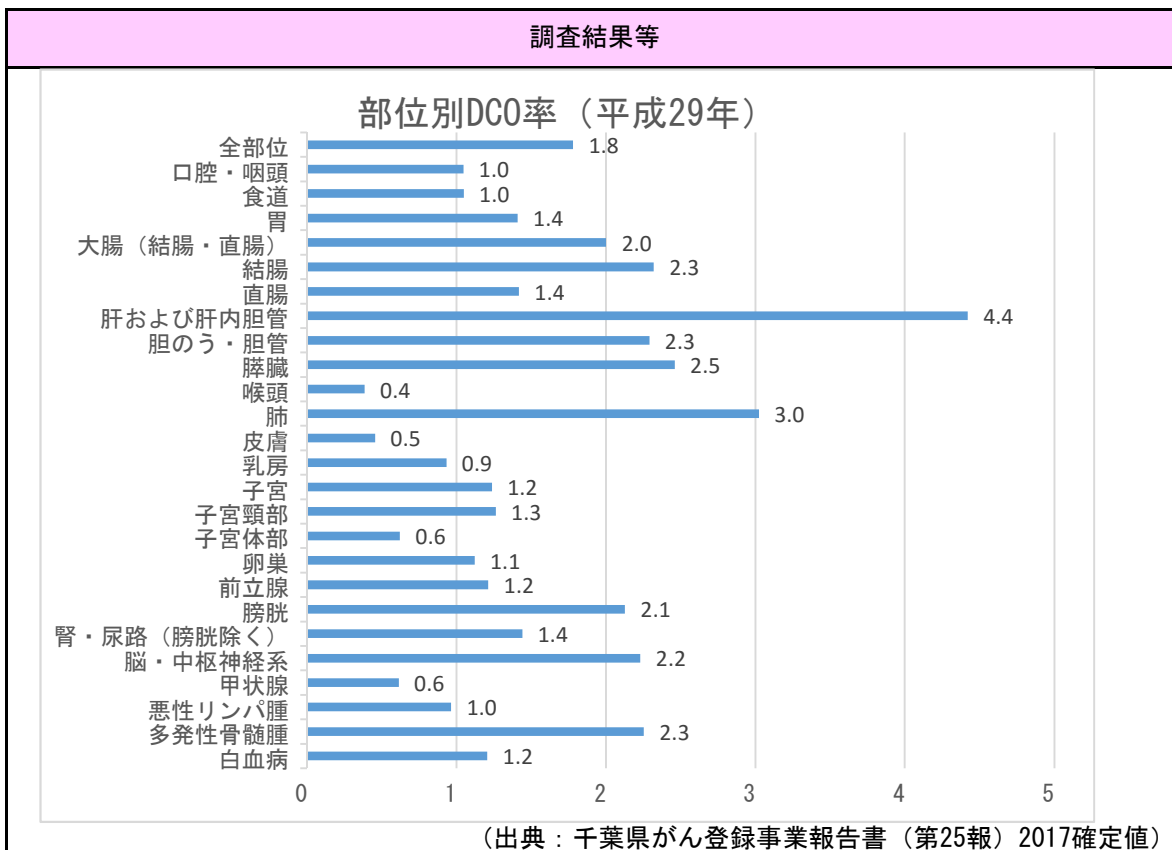
平成28年から全国がん登録の制度が開始され、全ての病院等にごん罹患情報の届出が義務化されたことから、病院等に対し制度の周知や届出の促進を行うとともに、国が行う遡り調査（死亡情報票を照合し、がん登録の届出がない死亡者情報について、病院等へ行う調査）に協力する。

計画最終年度までの目標（案）

「全国がん罹患モニタリング集計」は、全国がん登録の開始に伴い、平成28年から実施されていない。がん罹患の届出が義務化された全国がん登録の数値と経年比較することは、誤った解釈につながりかねないため、評価に用いる調査を全国がん登録に変更する。

全国がん登録の最新値（平成29年）では、DCO率は1.8%となっているが、部位別で見ると最も高い「肝および肝内胆管」では4.4%となっていることから、全ての部位で3%以下となることを目標とする。

調査結果等



がん対策推進計画 個別目標中間評価シート（案）

【研究等】

個別目標	4-2 国の標準登録様式に基づく院内がん登録の実施医療機関数 (がん診療連携拠点病院等及び千葉県がん診療連携協力病院)
用いる調査	千葉県がん診療連携協議会の資料

計画改定時点	目標	目標年度	最新値	達成状況
30病院 (平成29年9月)	増加する	令和5年度 (平成35年度)	35病院 (令和元年)	改善傾向

取組状況
院内がん登録の実施が義務づけられていない任意参加の病院の登録実務者に対し、千葉県がんセンターで研修を行うなど、継続的に参加できるよう取り組んでいる。

評価	コメント
A	目標を達成している。

目標達成等に必要な課題
(千葉県がんセンター及び千葉県がん診療連携協議会で原案を記載予定)

課題を踏まえた具体的な取組
(千葉県がんセンター及び千葉県がん診療連携協議会で原案を記載予定)

計画最終年度までの目標（案）
(千葉県がんセンター及び千葉県がん診療連携協議会で原案を記載予定)